

# 新たなDHEAT応援派遣体制について (案)

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業)

「実践を踏まえた災害時健康危機管理支援チーム (DHEAT) の質の向上、

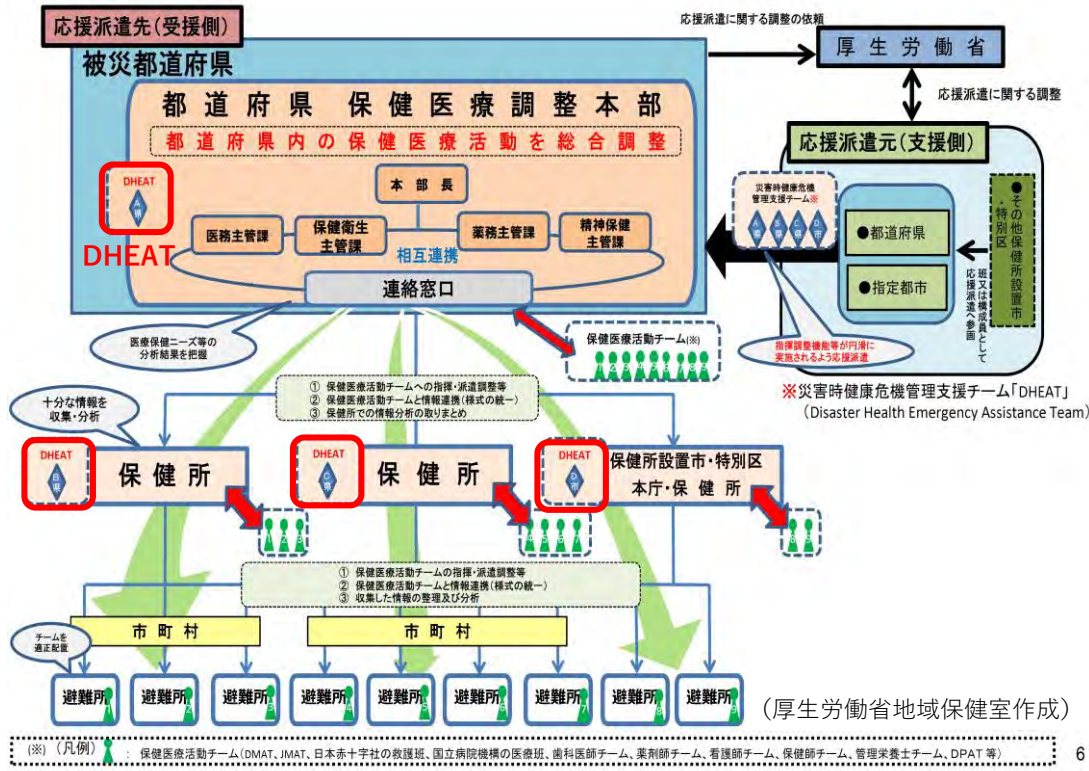
構成員、受援者の技能維持に向けた研究」運用体制班

- ・ 研究代表者：服部希世子 (熊本県人吉保健所 所長)
- ・ 研究分担者：武智浩之 (群馬県利根沼田保健福祉事務所 医監)  
木脇弘二 (熊本県八代保健所 所長)  
内田勝彦 (大分県東部保健所 所長)  
藤内修二 (大分県福祉保健部 理事兼審議監)
- ・ 研究協力者：角野文彦 (滋賀県健康医療福祉部 理事)  
白井千香 (枚方市保健所 所長)  
渡瀬博俊 (東京都中央区保健所 所長)  
石井安彦 (北海道感染症対策本部指揮室 医療参事)  
早川貴裕 (栃木県保健福祉部医療政策課 課長補佐)  
尾島俊之 (浜松医科大学社会医学講座 教授)  
富尾 淳 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部 部長)  
奥田博子 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部 上席主任研究官)  
中森知毅 (横浜労災病院救命救急センター災害医療部 部長)  
中村光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター センター長)

# 災害時健康危機管理支援チーム DHEAT(Disaster Health Emergency Assistance Team) 概要

## 1. DHEATとは

災害が発生した際に、被災都道府県の保健医療調整本部及び被災保健所が行う、保健医療活動の指揮調整機能等を応援する専門チーム。急性期～亜急性期にかけて活動する。



## 2. DHEATの編成

DHEATは都道府県及び指定都市の職員により編成され、医師、保健師、薬剤師、獣医師、事務職など1班あたり5名程度で構成。

## 3. DHEATの応援派遣調整 (図)

被災都道府県は厚生労働省にDHEATの応援派遣調整を依頼する。調整依頼を受けた厚生労働省は、被災都道府県以外の都道府県及び指定都市に対し照会を行い、回答をもってDHEAT応援派遣案を作成し調整を行う。

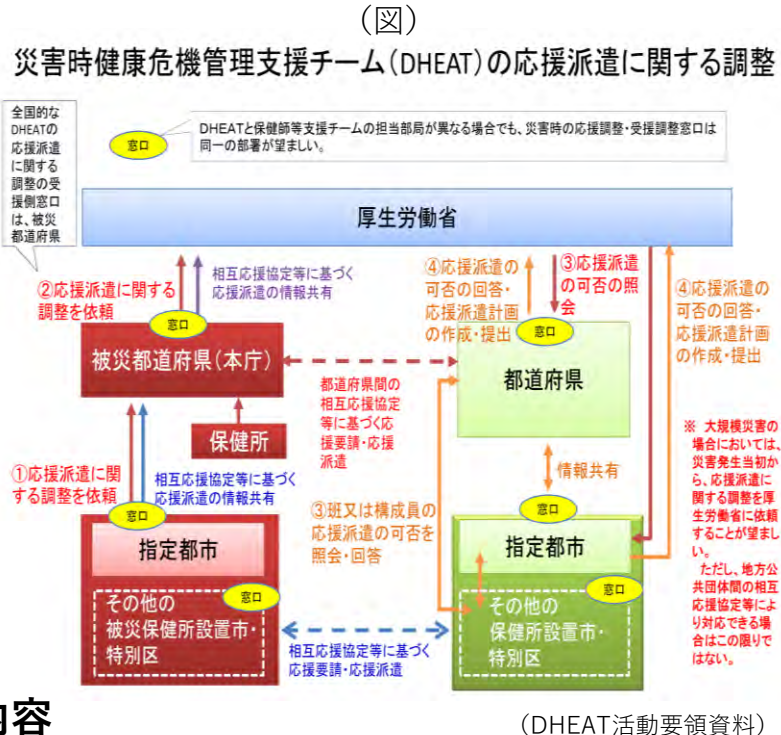
## 4. DHEAT活動実績

災害	派遣先	DHEAT
平成30年7月豪雨	岡山県 広島県 愛媛県	16自治体 7チーム 29班
令和元年8月大雨	佐賀県	3自治体 2チーム 4班
令和2年7月豪雨	熊本県	6自治体 4チーム 9班

(全国保健所長会健康危機管理委員会・厚生労働省・熊本県の資料より)

## 5. 被災地におけるDHEAT活動内容

- 保健医療調整本部の運営支援、被災保健所との連携支援
- 被災保健所の機能強化；保健師活動支援、市町村リエゾン業務支援
- 被災保健所本部運営支援；会議資料作成、進行管理、議事録作成
- 保健医療活動チームの統括・活動調整
- 情報の入力・整理・分析による課題抽出
- 保健活動再開に向けたロードマップ作成の支援
- 戸別訪問の準備、支援
- 職員の健康管理に関する助言、支援



5 出典；令和元年・令和2年度厚生労働科学研究費補助金「実践を踏まえた災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の質の向上、構成員、受援者の技能維持に向けた研究」研究分担者；池邊淑子(大分県福祉保健部)、緒方敬子(熊本県天草保健所)

# これまでのDHEAT応援派遣調整の現状と課題

## 1. DHEAT応援派遣実績

(全国保健所長会健康危機管理委員会・厚生労働省・熊本県の資料より)

災害	派遣先	派遣先活動場所	DHEAT総数	(内訳)							
				九州ブロック	中国・四国ブロック	近畿ブロック	東海・北陸ブロック	関東甲信越静ブロック	東京ブロック	東北ブロック	北海道ブロック
平成30年7月豪雨	広島県 岡山県 愛媛県	保健所 (市町村)	16自治体 7チーム 29班	長崎県(3) 大分県(1) 熊本県(1) 北九州市(1) 熊本市(1)	徳島県(1)	和歌山県(1) 大阪府(3) 大阪市(2)	三重県(1) 愛知県(1)	千葉県(2)	東京都(3)	青森県(2)	北海道(3) 札幌市(3)
令和元年8月大雨	佐賀県	保健医療調整本部、保健所	3自治体 2チーム 4班	長崎県(2) 大分県(1) 熊本県(2)	—	—	—	—	—	—	—
令和2年7月豪雨	熊本県	保健所 (市町村)	6自治体 4チーム 9班	長崎県(3) 佐賀県(2) 宮崎県(1) 熊本市(1)	島根県(1)	—	三重県(1)	—	—	—	—

## 2. 全国DHEAT応援派遣調整結果 (派遣可の回答率)

- 令和元年8月の大雨；**29**自治体  
(**44%**)
- 令和2年7月豪雨災害；**13**自治体  
(**20%**)

## 3. DHEAT活動開始時期の課題

○被災地は、DMAT等が支援に入る初動の時期からDHEATの応援活動を期待。  
○DHEATからも、初動を過ぎて体制が出来上がった後の活動では本部や現地との調整に配慮を要した、応援開始時期が遅く職員の疲労が激しかったという意見。

## 4. 現状と課題

- DHEATは迅速に現地の需要を判断し応援活動を開始する必要があるが、全国調整の場合、被災地から遠方の自治体から派遣されうる。
- 都道府県間でDHEAT体制整備の状況に差が出てくる。
- コロナ禍では県境を超えた移動が困難である。
- ◎好事例；R1.8月大雨及びR2.7月豪雨では、地域ブロック内で自発的な派遣調整の動きがあり、迅速な応援活動に繋がった。

2;厚生労働省・熊本県提供データ

3;出典；令和元年・令和2年度 厚生労働科学研究費補助金「実践を踏まえた災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）の質の向上、構成員、受援者の技能維持に向けた研究」研究分担者；池邊淑子、緒方敬子

# DHEAT応援派遣調整の課題と今後の対策

## 1.課題

- 迅速な現地の需要の判断と、DHEAT応援活動の開始
- パンデミック下における都道府県間の移動制限

## 2.今後の対策⇒新たなDHEAT応援派遣の構築

### 1) 近接性優先の段階を踏んだ応援派遣体制

#### 都道府県

- ・ ①都道府県・指定都市におけるDHEAT活動体制の強化

#### 地方ブロック

- ・ ②地方ブロックDHEAT協議会の設置

#### 全国

- ・ ③全国DHEAT協議会の設置

### 2) 要請を待たずにDHEATが出動できる体制（先遣隊体制）

# ①都道府県・指定都市におけるDHEAT活動体制の強化

## 1. 都道府県内DHEAT活動体制強化の内容

- 都道府県内応援体制（Local-DHEAT;L-DEAHT）の構築
- 1チーム1ヶ月間派遣できる人材の育成
- 都道府県保健医療調整本部設置の際に、コマンダーとなる統括DHEAT（公衆衛生医師）の任命

## 2. 統括DHEAT（公衆衛生医師）とは

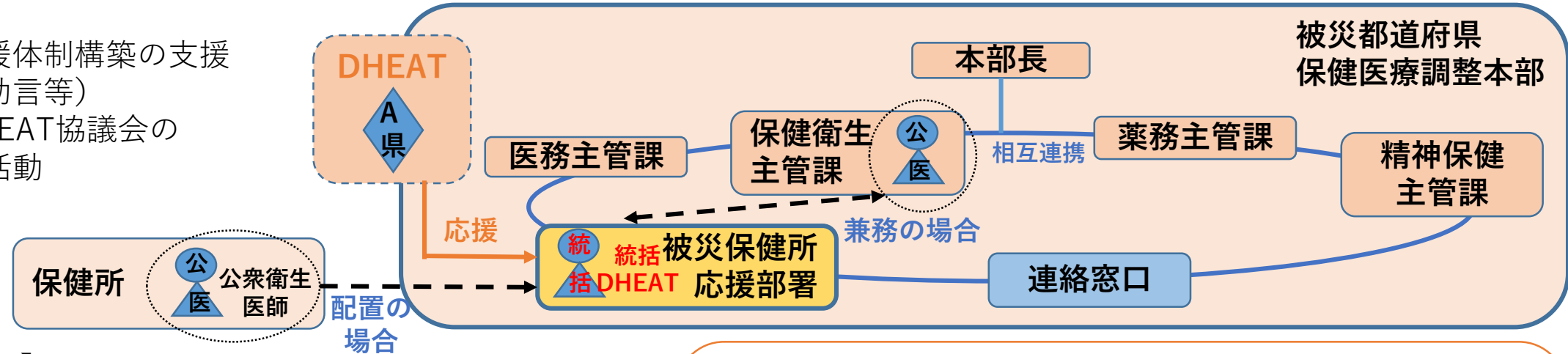
- 統括DHEATは、平時に都道府県から任命された者とする。
- 統括DHEATは、DHEAT基礎編研修およびDHEAT高度編研修を終了した者であり、継続して高度編研修を受講する（年1回）。
- 災害発生時には、保健医療調整本部における被災保健所の応援体制を担う部署に、必ず統括DHEATを配置する。なお、統括DHEATは保健医療調整本部内での兼務可とする。

## 3. 統括DHEAT（公衆衛生医師）の役割

### 【平時の役割】

- 都道府県内の受援体制構築の支援（研修や訓練への助言等）
- 地方ブロックDHEAT協議会のメンバーとして活動

(図)災害発生時における統括DHEATの配置(厚生労働省地域保健室作成資料 一部改変)



### 【災害発生時の役割】

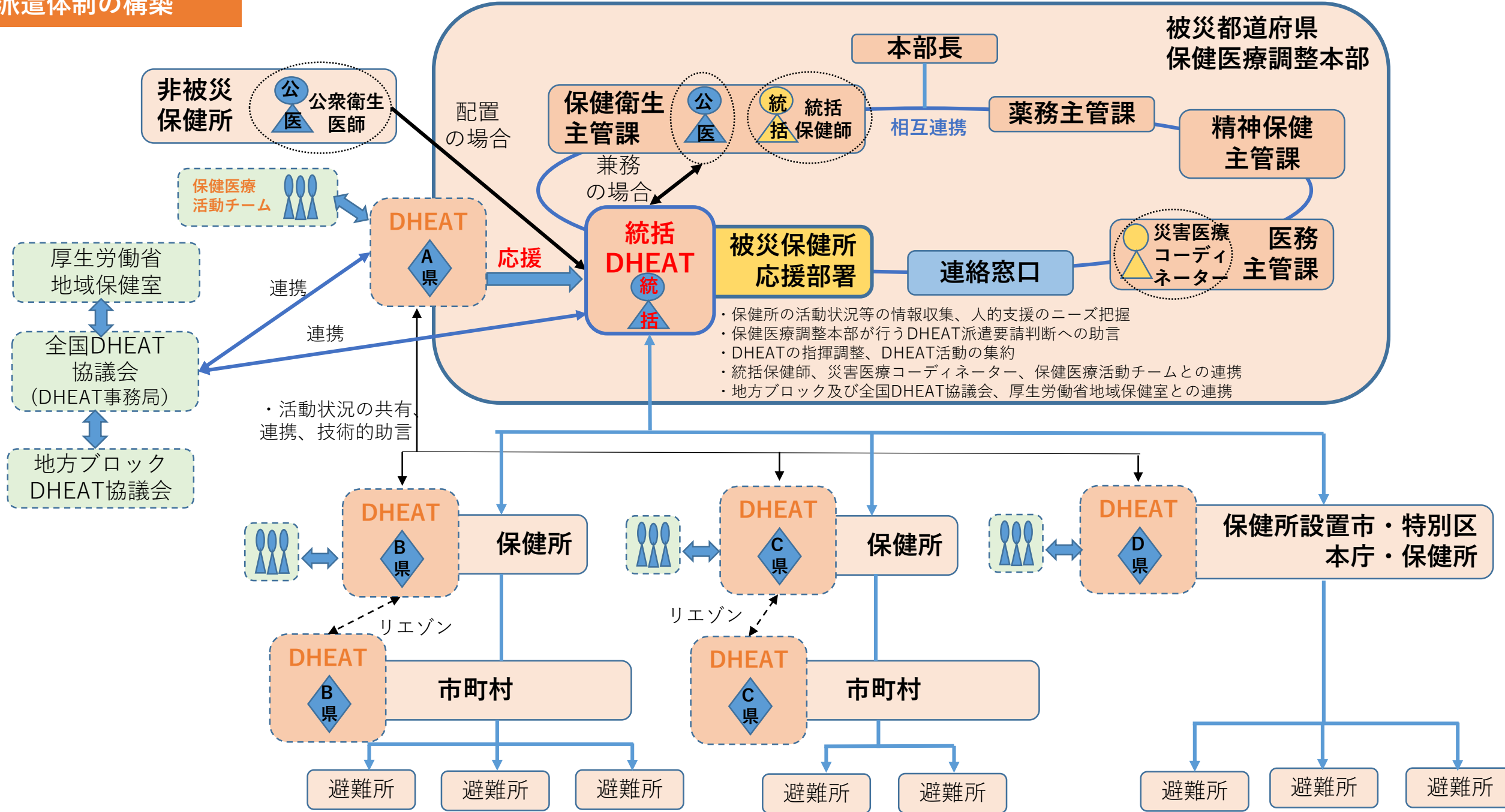
- 保健医療調整本部において担当部署とともにコマンダーとして被災保健所応援体制の統括業務※を担う。
- 都道府県は、統括DHEATをサポートする体制を整備する。  
(例示：統括DHEATを担うことができる公衆衛生医師を複数名任命する、発災時に統括DHEATを配置した場合には都道府県で整備するDHEAT班員を同時に配置する)

### ※被災保健所応援体制の統括業務

- 保健所の被災状況や活動状況等の情報収集、ニーズ把握
- 保健医療調整本部が行うL-DHEAT・DHEAT派遣要請判断への助言
- 被災都道府県内で活動するすべてのDHEATの指揮調整
- 統括保健師、災害医療コーディネーター等保健医療福祉活動担当者及び保健医療活動チームとの連携
- 保健所、市町村へ派遣されたDHEAT活動に関する情報収集
- 厚生労働省地域保健室との連携

# 新たなDHEAT応援派遣体制の構築

## 統括DHEATの役割イメージ図



### 1. 地方ブロックDHEAT協議会の体制

- 代表1名（各ブロックの会長）、副代表2名（ブロック内での輪番制など）
- 事務局は各ブロックの会長が所属する自治体のDHEAT主管課がつとめる。
- メンバーは各自治体（都道府県）の統括DHEATがつとめる。
- 協議会は各ブロックで毎年実施される保健所連携推進会議の日程に合わせて開催する。

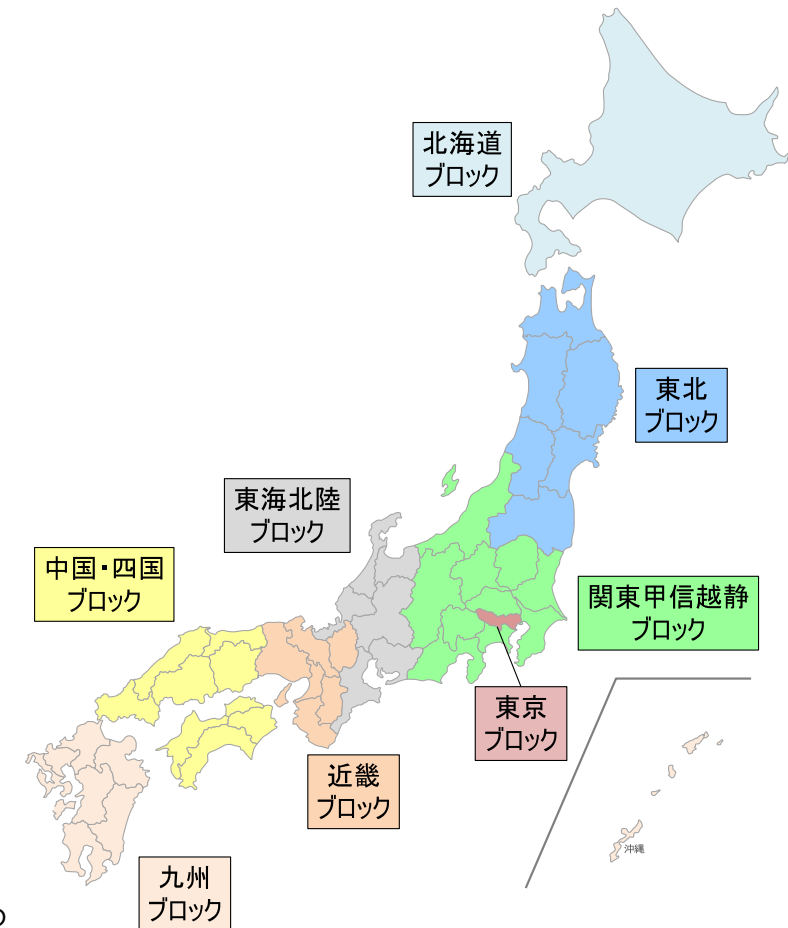
### 2. 地方ブロックDHEAT協議会の役割

#### 【平時の役割】

- 地方ブロック内の連絡網の作成、更新
- 災害の種類や規模に応じた、地方ブロック内の応援派遣計画の作成
- 地方ブロック内での研修の企画および実施
- 地方ブロック内の災害時保健医療活動チーム（DMAT、日本赤十字社、JMAT、DPAT、JRAT、JDA-DAT等）との連携関係の構築および強化

#### 【災害発生時の役割】

- 被災都道府県内の応援体制ではDHEAT活動が十分できない場合は、地方ブロックのDHEAT応援派遣計画に基づいた派遣調整を行う。
- 地方ブロック内で対応できない場合は、厚生労働省健康局地域保健室により実施される全国的なDHEAT応援派遣調整を支援する。

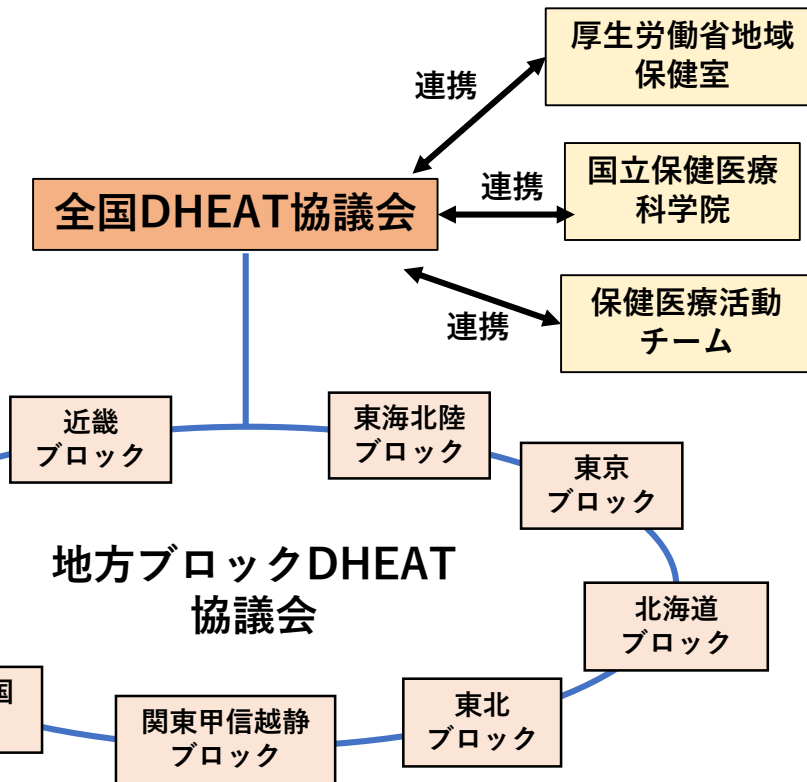


(全国保健所長会ブロック)

### ③全国DHEAT協議会の設置

#### 1. 全国DHEAT協議会の体制

- 代表：全国衛生部長会、副代表：全国保健所長会
- 事務局は全国保健所長会の健康危機管理委員会がつとめる。  
(将来的にDHEAT事務局が設置されるように働きかける。)
- メンバーは各地方ブロックDHEAT協議会の代表および副代表がつとめる。
- オブザーバーとして厚生労働省健康局地域保健室が参加する。
- 協議会は全国衛生部長会総会、全国保健所長会総会の日程に合わせて開催する。



(平時及び災害発生時の関係図)

#### 2. 全国DHEAT協議会の役割

##### 【平時の役割】

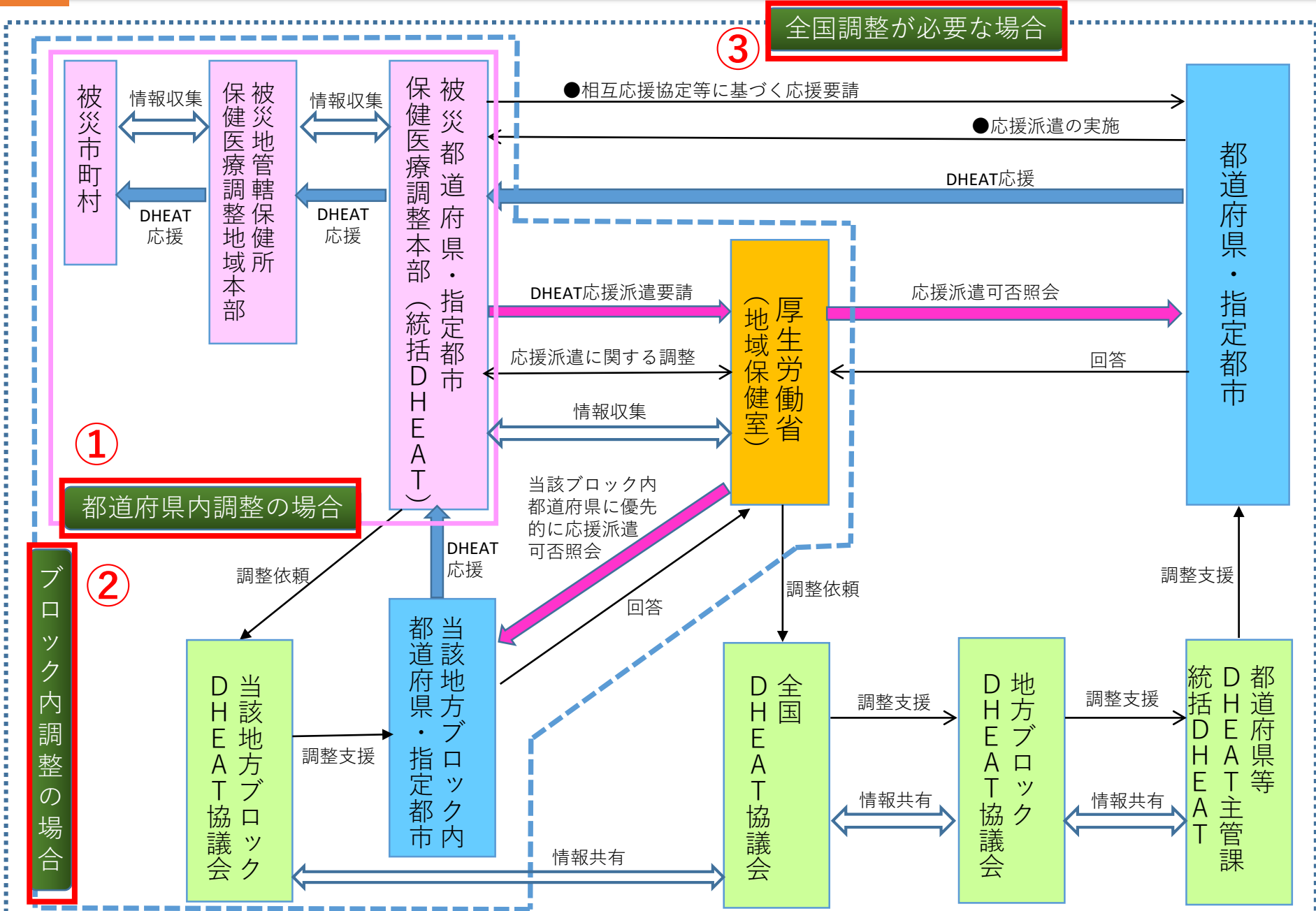
- 全国の連絡網の作成と更新
- 各地方ブロックにおけるDHEAT応援派遣計画の把握
- 各地方ブロックにおけるDHEAT養成研修や訓練の実施状況の把握
- 全国規模の研修の企画および実施、国立保健医療科学院との連携
- 全国規模の災害時保健医療活動チーム（DMAT、日本赤十字社、JMAT、DPAT、JRAT、JDA-DAT等）との連携関係の構築及び強化
- 実災害におけるDHEAT活動の検証および課題の抽出、課題に対する対応策の体制への反映
- DHEAT活動の普及啓発

##### 【災害発生時の役割】

- 地方ブロックDHEAT協議会、厚生労働省健康局地域保健室との情報共有
- 災害発生時における情報収集と発信
- 厚生労働省健康局地域保健室により実施される全国的なDHEAT応援派遣調整の支援



# DHEATの応援要請・応援派遣スキーム案



(奈良県中和保健所  
山田先生作成資料)

## 1. DHEAT先遣隊の定義

○先遣隊の定義：発災後48時間以内に活動を開始できるDHEATのこと（L-DHEATは除く）。

## 2. DHEAT先遣隊の役割

○被災都道府県保健医療調整本部において、統括DHEAT及び被災保健所の応援体制を担う部署が行う統括業務を支援する。

## 3. DHEAT先遣隊の編成

○編成：医師1名、保健師1～2名、ロジ1～2名  
（編成にあたっては、48時間以内に応援派遣できることを優先に、人数や職種について検討する）

## 4. DHEAT先遣隊の活動期間

○活動期間：3日間程度

## 5. DHEAT先遣隊 派遣判断基準の目安

- （①～③をすべて満たす）
- ①災害救助法が適用される規模の災害、かつ県内DHEATの運用がされていない。
- ②県外DMAT・日赤救護班が出動している、もしくは保健師チーム派遣要請が出ている。
- ③発災24時間以内にDHEAT応援要請が出ていない。

## 6. DHEAT先遣隊 派遣の流れ

- 1) 派遣判断基準の目安に基づき、地方ブロックDHEAT協議会が被災都道府県保健医療調整本部に対し先遣隊派遣について打診を行う。なお、打診の結果派遣不要の場合は、地方ブロック協議会と地域保健室が相談の上、先遣隊派遣を検討する。
- 2) 地方ブロックDHEAT出動計画に基づき、地方ブロック協議会で派遣調整を行う。（地域ブロック内で派遣調整できない場合、近隣ブロック→全国へと調整を広げる）
- 3) 派遣調整後、地域保健室から派遣先へ通知し、派遣元自治体に派遣依頼を行う。

新たなDHEAT応援派遣体制を踏まえたイメージ

